

八幡信用金庫 第4次中期経営計画

(期間:令和8年度～令和10年度)

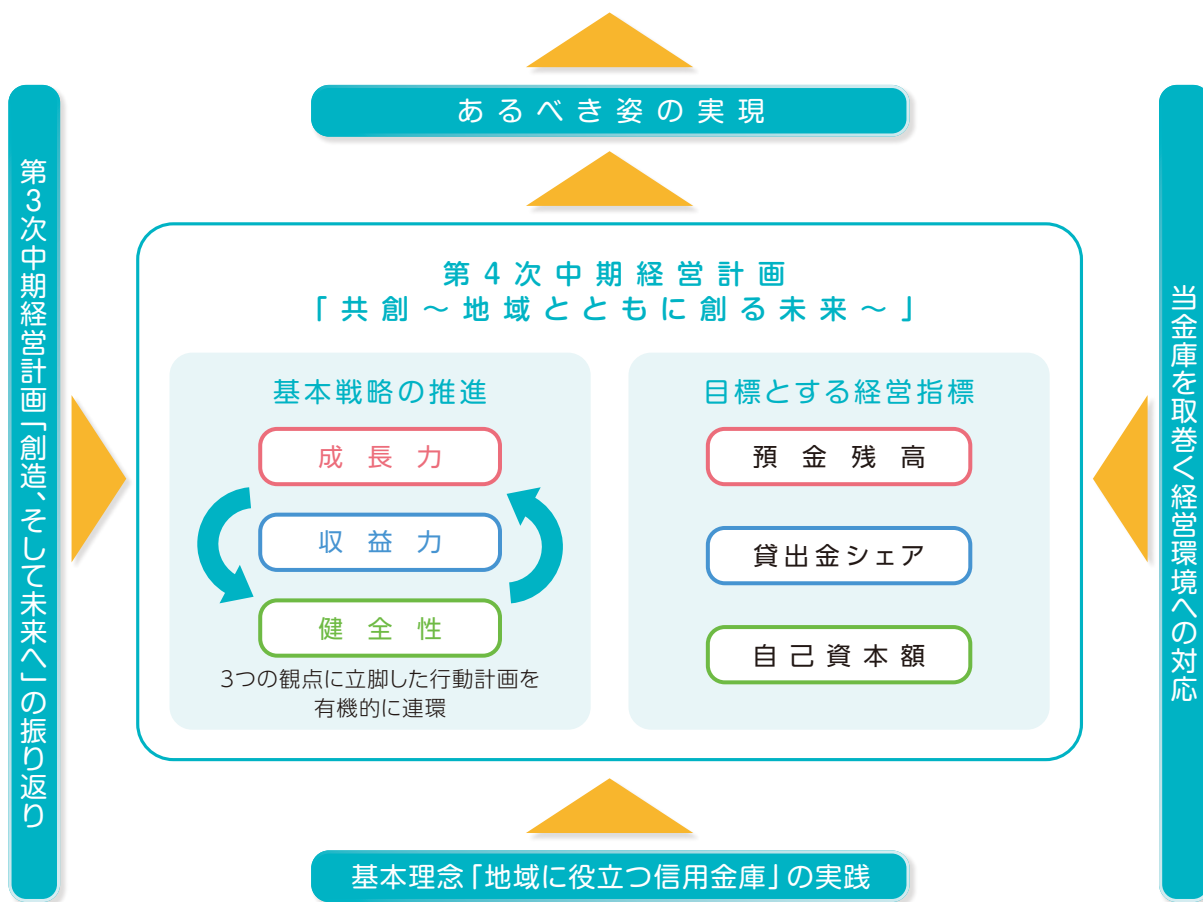
「共創～地域とともに創る未来～」

当金庫は、令和8年度を計画初年度とする第4次中期経営計画「共創～地域とともに創る未来～」(令和8年度～令和10年度)を策定しました。計画では、「成長力」「収益力」「健全性」の3つの観点に立脚した基本戦略の実施に加え、これまでに認識した当金庫が対処すべき課題とその対応策に、経営環境の変化に適切に対応するための諸施策を組み入れて取り組んでいくこととしております。

当金庫では、この第4次中期経営計画への取り組みを通じて、これからも地域経済の活性化と持続的発展に貢献し続けていくことを目指してまいります。

計画の概要

— 地域の持続的発展への貢献 —



当金庫のあるべき姿

- 地域経済の発展に貢献している金庫
- 基本理念を守り継いでいる金庫
- お客さま・地域本位の営業姿勢を守り継いでいる金庫
- 経営環境の変化に適切に対応している金庫
- 業務の改革に挑戦し続けている金庫
- 職員一人ひとりが自己の役割と成長を実感している金庫

基本戦略の推進

成長力

職員、金庫の成長

法人取引の強化

個人取引の強化

人材育成

地域活性化への継続的取組み

加速する人口減少への対応

金融テクノロジーへの対応

地域SDGs及び脱炭素社会に向けた取組み

将来を見据えた業務運営の在り方検討

採用者数増加に向けた取組み

収益力

安定的な収益の確保

営業体制の強化

貸出金利息収益の確保

資金運用関連収益の確保

役務収益等の強化

業務改革による生産性と
効率性の向上

本格的な金利上昇への対応

健全性

内部管理態勢の強化

リスク管理態勢の更なる充実

コンプライアンス態勢の継続的強化

顧客保護等管理態勢の継続的強化

マネー・ローンダリング及び
テロ資金供与対策の強化

サイバーセキュリティの継続的強化

目標とする経営指標

経営指標	令和8年度	令和9年度	令和10年度
預金残高	1,260億円	1,280億円	1,300億円
貸出金シェア	36.0%	36.5%	37.0%
自己資本額	190億円	195億円	200億円

第3次中期経営計画「創造、そして未来へ」(期間:令和5年度～令和7年度)

当金庫では、令和5年度を計画初年度とする第3次中期経営計画「創造、そして未来へ」(令和5年度～令和7年度)を策定し、「持続可能な地域経済社会」の実現に向けて取り組んでまいりました。第3次中期経営計画における主な取組実績は以下のとおりです。

■目標とする経営指標と実績

	令和6年3月期		令和7年3月期		令和8年3月期	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
成長力						
貸出金残高	320億円	325億円	321億円	320億円	322億円	315億円
貸出金シェア	36.0%以上	37.25%	36.0%以上	36.72%	36.0%以上	36.47%
民間貸出金伸長率	年率1%以上	6.13%	年率1%以上	▲0.92%	年率1%以上	▲0.63%
収益力						
当期純利益	1億円以上	5億78百万円	1億円以上	4億27百万円	1億円以上	9億25百万円
健全性						
自己資本額の横上げ	1億円以上	5億3百万円	1億円以上	3億83百万円	1億円以上	8億57百万円

■「成長力」における計数計画・実績

実 施 項 目		計画期間目標	計画期間実績
事業性評価による経営課題の把握・各種支援の提案		2,100件	3,094件
取引先の資金繰り把握と適時適切な資金支援		30億円	48億円
地域のキャッシュレス化の推進		30件	27件
コンサルティング能力向上のための研修	集合研修	6回	9回
	本部主管部署によるOJTの実施	180件	274件

※基本戦略における具体的な取組実績については当冊子の4ページ「事業の概況」をご覧ください。